

## 2021年5月期 第2四半期決算概況

証券コード：3501  
(東証一部上場)



# 目次

■ 表紙	01	■ 2021年5月期 見通し	16
■ 目次	02	■ 株主還元について	18
■ 2021年5月期第2四半期 (2020/6～2020/11)連結業績	03		
■ インテリア事業	04		
■ 自動車・車両内装事業	07		
■ 機能資材事業	11		
■ 事業セグメント別内訳	12		
■ 連結バランスシート	13		
■ 有利子負債	14		
■ 設備投資・減価償却費	15		

# 2021年5月期第2四半期 (2020/6～2020/11)連結業績

(単位:百万円)

	当第2四半期	前年同期	前年同期比増減	
			(率)	(額)
売上高	37,567	48,602	△22.7%	△11,034
営業利益	20	1,190	△98.3%	△1,170
営業利益率	0.1%	2.5%		
経常利益	△5	1,130	-	△1,136
経常利益率	-	2.3%		
四半期純利益	△352	474	-	△827
四半期純利益率	-	1.0%		

## 日本経済

新型コロナウイルスの感染拡大による景気後退から持ち直しを見せたものの、雇用環境の悪化や消費回復の鈍化などにより停滞した。

## 世界経済

中国では景気が回復したが、欧米では新型コロナウイルス感染拡大の収束が見通せず、厳しい状況が続いた。

為替レート (USD/JPY)	当期	前年同期
	106.33	108.68

※ 当資料の四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を表している。

# インテリア事業

カーペットを中心にカーテン、壁紙等を販売

新設住宅着工戸数は前年同期比9.3%減、非住宅分野でも着工床面積が同11.8%減となった。

(単位:百万円)

	当第2四半期	前年同期	前年同期比(率)	前年同期比(額)
売上高	14,882	16,938	△12.1%	△2,056
営業利益	233	265	△11.8%	△31

## ■ 業務用カーペット [売上高 前年同期比△8%]

ロールカーペット …大型案件を受注したことで売上が増加。  
タイルカーペット …特に海外輸出向けがロックダウンによる  
経済活動への影響から大きく低迷。

## ■ 家庭用カーペット [売上高 前年同期比+13.5%]

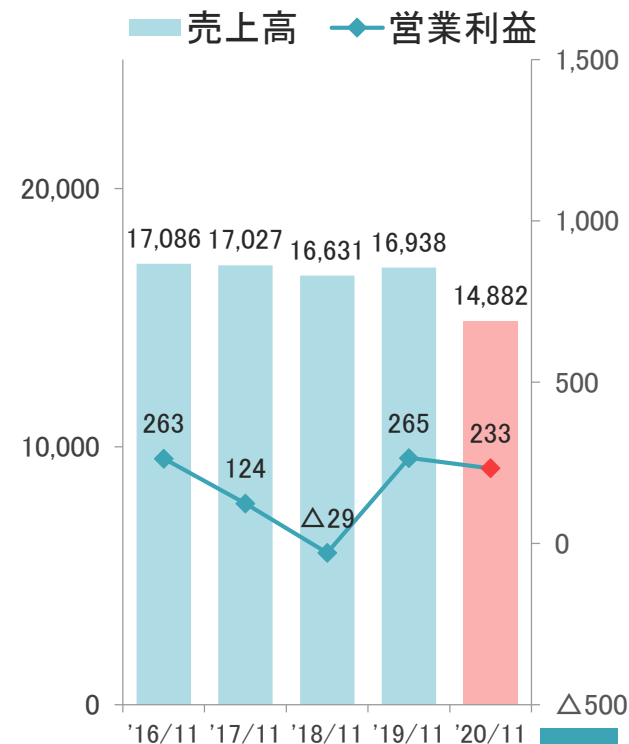
外出自粛によるウェブ向け販売および自粛期間明けの消費の盛り返しによるホームセンター等の店舗販売が好調に推移。

## ■ カーテン [売上高 前年同期比△8%]

一般家庭向けが伸び悩み、医療・福祉・教育施設向けは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設への立ち入りが一時的に制限され、新規納入や取り換え工事が下期以降に延期されたことなどにより販売が縮小。

## ■ 壁装関連 [売上高 前年同期比△17%]

新型コロナウイルス感染拡大により住宅、店舗、病院およびホテルの新築・リフォーム需要が減少したことで、壁紙の売上が縮小。



# インテリア事業 - 健康に、環境にやさしい商材の拡販

## ① 抗菌・抗ウイルス商材



従来は、医療・福祉・教育施設等に向けた限定的な商品展開に留まっていましたが、今後は、一般家庭、オフィス、ホテルなど、幅広い室内環境で使用できるカーテンやカーペットを拡充していきます。



↑ 医療・福祉・教育施設向けカーテン「Face」より



← 一般家庭向けカーテン「DESIGN LIFE®」より

## ② 環境商材

- 水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®」の拡販。



- 環境にやさしい原液着色系の使用拡大へ。

製品に使う糸の染色工程では、排水の問題など、環境負荷が懸念されるため、染色ではなく、紡糸段階で顔料を練りこむ「原液着色糸」の使用拡大を進めています。

# インテリア事業 - 株式会社シーピーオーの子会社化

2020年、アパレルや美容院、雑貨店、小売店などの設計・デザイン・施工および施工監理を行う株式会社シーピーオーの株式を100%取得し、子会社化しました。

今後は、インテリア内装材の製造販売から空間設計・デザインへ、また、これまでターゲットとなっていなかった店舗分野へ事業領域を拡大していきます。

商号	株式会社シーピーオー	<b>CPO</b> COLTD
本社所在地	東京都渋谷区千駄ヶ谷二丁目8番5号	
代表者	青木 伸郎	
設立	1990年10月16日	
株主	住江織物株式会社 100%	
事業内容	①内装設計・デザイン、施工及び監理業 ②特注家具製作販売	
資本金	1,200万円	
年間売上高	約18億円	



店舗設計についての深い知見と卓越した施工ノウハウを持つ同社が加わることで、室内空間全体をデザインし、顧客要望をさらに高いレベルで具現化することが可能となります。

# 自動車・車両内装事業

新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の停滞から日系自動車メーカーの生産台数が減少。国内の生産台数は前年同期比11.5%減。海外市場でも生産・販売が滞り、前年同期を下回った。

(単位:百万円)

	当第2四半期	前年同期	前年同期比(率)	前年同期比(額)
売上高	20,406	28,824	△29.2%	△8,418
営業利益	546	1,609	△66.0%	△1,062

## 自動車内装事業

フロアカーペット、シート地、天井表皮材等、自動車内装材をトータルで販売

### ■ 国内 [売上高 前年同期比△15.9%]

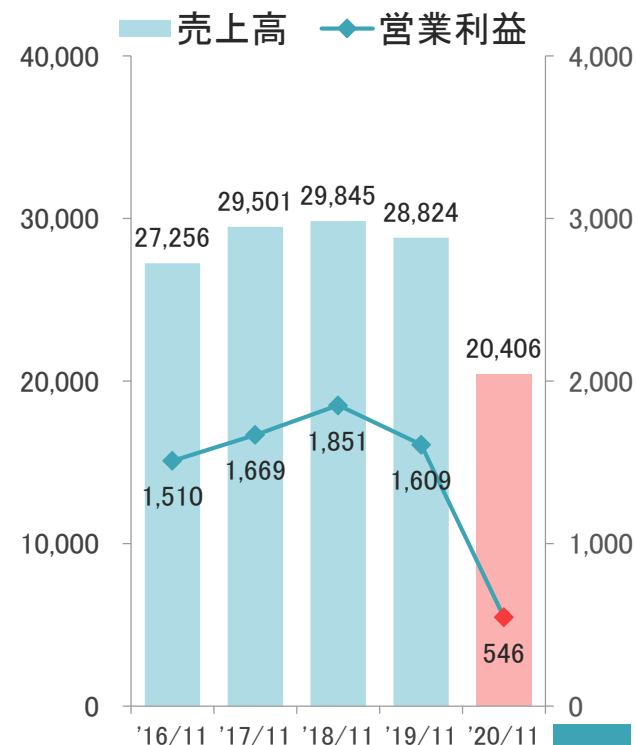
国内の自動車生産は一時大きく低下し、9月には前年同月並みまで回復を見せたものの挽回には至らなかった。

### ■ 海外 [売上高 前年同期比△37.8%]

地域ごとに差はあるものの生産台数は一様に回復基調にあり、特に中国では順調な回復が続いたが、世界的なロックダウンに伴う減産や販売低下の影響が大きかった。

## 自動車内装事業全体

売上、営業利益ともに前年同期を下回った。



# 自動車・車両内装事業

## 車両内装事業

鉄道・バス・航空機・船舶にシート地やカーペット、  
リサイクル性に優れたシートクッション材「スミキューブ®」等を販売

### ■ 鉄道・バス向け

テレワークの推進などによる公共交通機関の利用者数減少が影響し、鉄道内装の需要が減少した。またバスでは、国内旅行やインバウンドの大幅な縮小を受け、新車製造数が大きく低下した。

## 車両内装事業全体

売上、営業利益ともに前年同期を下回った。



# 自動車・車両内装事業 - 健康に、環境にやさしい商材の拡販

## ① 抗菌・抗ウイルス商材

お取引先様からのご要望が高まる、抗菌・抗ウイルス等の加工技術を活かした製品開発を進めています。

### <ご採用例>

- ・自動車用マット(消臭・抗菌・抗ウイルス・抗アレルギー・防ダニ加工)
- ・日本交通 高速バス向け 抗菌・抗ウイルスカーテン

## ② 環境商材

- ・ 製造時に有機溶媒の代わりに水を使用した環境にやさしい合成皮革。  
水系ポリウレタンレザー「EF-Leather」



- ・ シートクッション材・安全対策商材の拡販。

非繊維商材の開発と拡販に努めます

# 機能資材事業

機能性資材、ホットカーペット、独自消臭加工技術によるフィルター等の販売等、  
新たな分野で事業を展開

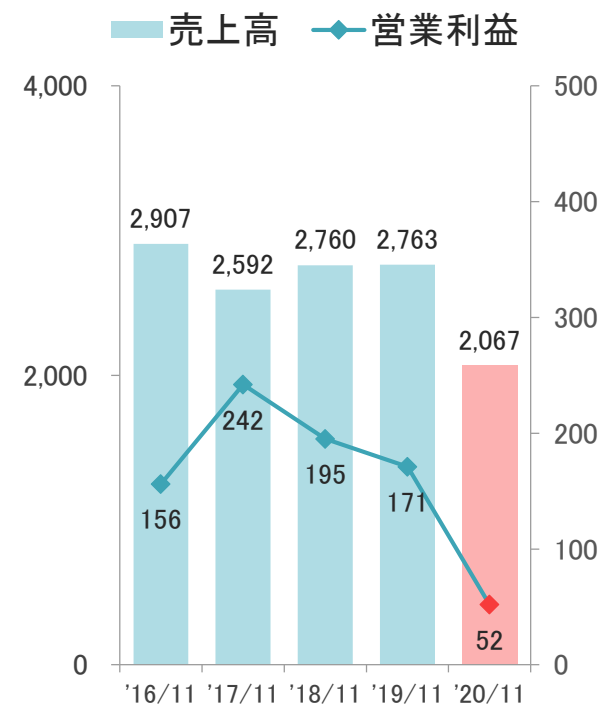
(単位:百万円)

	当第2四半期	前年同期	前年同期比(率)	前年同期比(額)
売上高	2,067	2,763	△25.2%	△696
営業利益	52	171	△69.4%	△119

- 空気清浄機等に内蔵される消臭フィルター
- 浴室床材  
好調に推移。
- ホットカーペット  
前期の暖冬の影響で当期の新規受注が大きく減少。
- ルーフング材 ■ 土木用資材 ■ 航空機内装材等  
売上が振るわなかった。

## 機能資材事業全体

売上、営業利益ともに前年同期を下回った。



## 機能資材事業 - 抗ウイルスSEKマークを取得

独自加工技術である「トリプルフレッシュ®デオ」は、抗ウイルス・抗菌防臭・制菌機能が認められ、2020年8月に一般社団法人繊維評価技術協議会のSEKマークを取得しました。



抗ウイルス加工



抗菌防臭加工



制菌加工

「トリプルフレッシュ®デオ」は、抗ウイルス・抗菌機能以外に消臭・抗アレルギー機能も有しています。

今後は空調機向けフィルターでの展開を皮切りに、マットやカーペットをはじめ医療・介護分野から幅広い分野へ展開していきます。



# 連結業績の事業セグメント別内訳

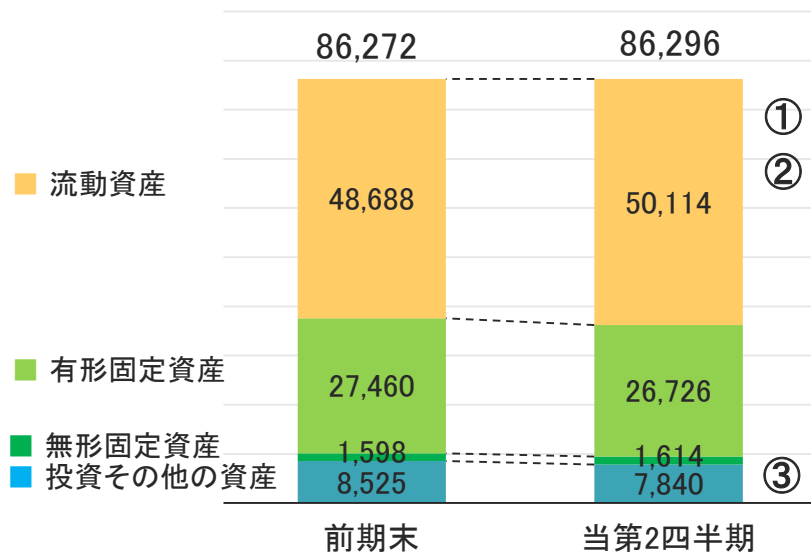
(単位:百万円)

売上高	当第2四半期	前年同期	前年同期比増減	
			(率)	(額)
インテリア	14,882	16,938	△12.1%	△2,056
自動車・車両内装	20,406	28,824	△29.2%	△8,418
機能資材	2,067	2,763	△25.2%	△696
その他	210	74	+182.5%	+136
合計	37,567	48,602	△22.7%	△11,034

営業利益	当第2四半期	前年同期	前年同期比増減	
			(率)	(額)
インテリア	233	265	△11.8%	△31
自動車・車両内装	546	1,609	△66.0%	△1,062
機能資材	52	171	△69.4%	△119
その他	37	35	+6.2%	+2
調整額	△850	△890	-	+40
合計	20	1,190	△98.3%	△1,170

# 連結バランスシート

## <資産>



### ① 現預金

前期末比+2,601百万円の13,101百万円となった

### ② たな卸資産

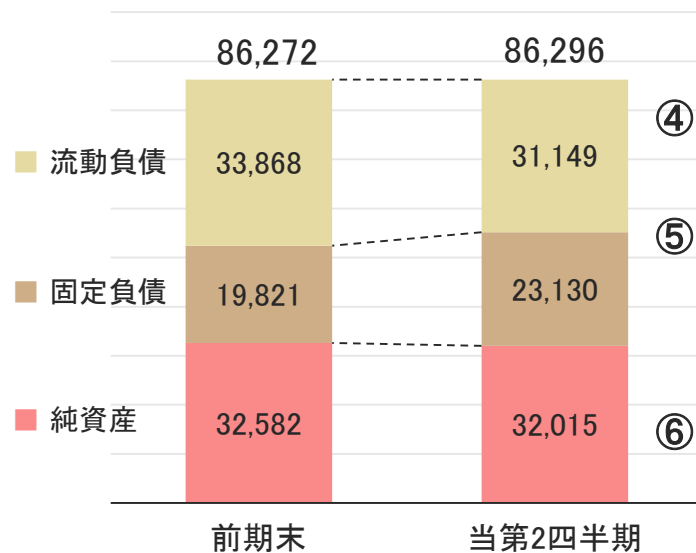
前期末比△1,774百万円の13,165百万円となった

### ③ 投資有価証券

前期末比△1,244百万円の4,743百万円となった

## <負債・純資産>

(単位:百万円)



### ④ 仕入債務(支払手形及び買掛金・電子記録債務)

前期末比△2,232百万円の16,064百万円となった

### ⑤ 有利子負債(短期・長期・社債)

前期末比+2,726百万円の22,910百万円となった

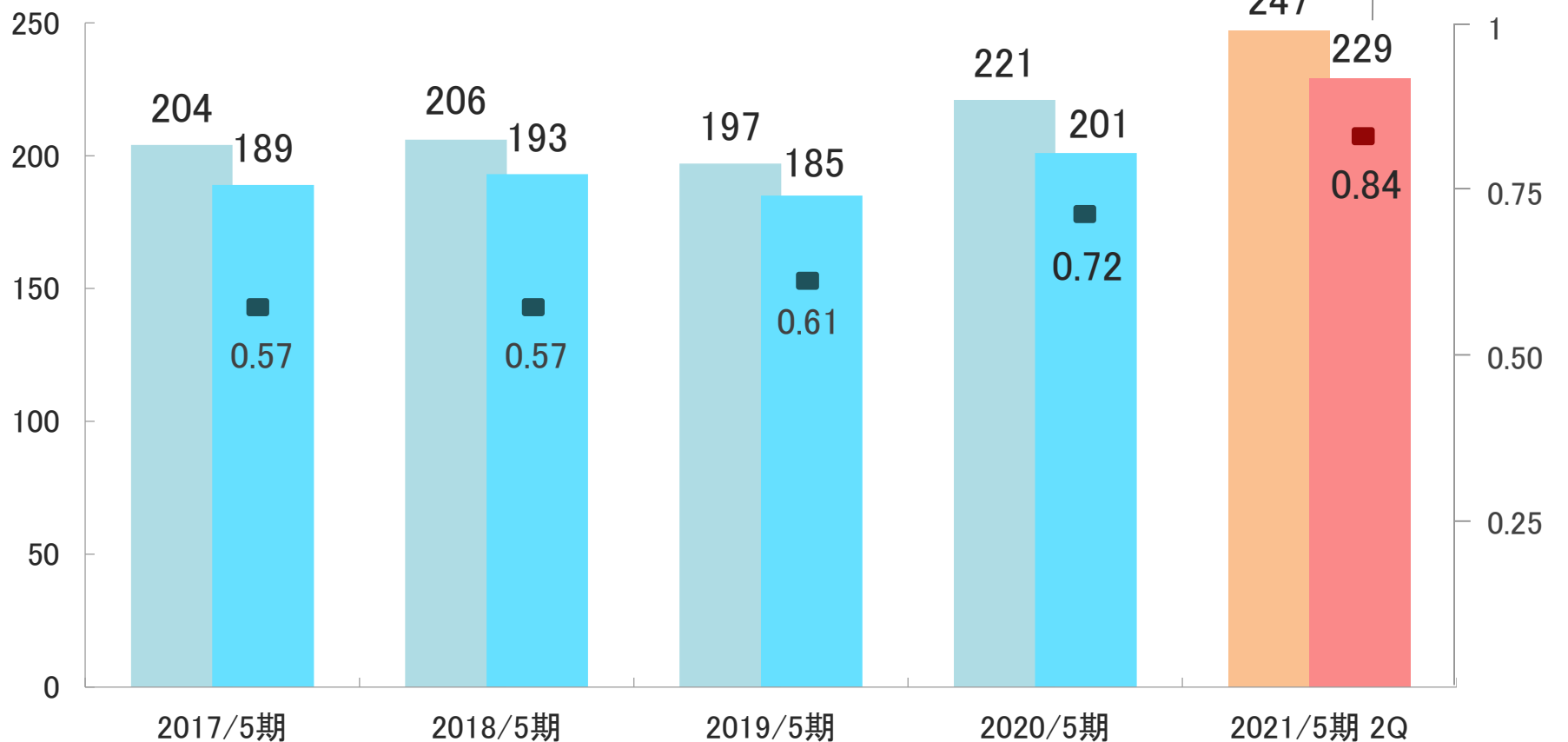
### ⑥ 利益剰余金

前期比△447百万円の10,005百万円となった

# 有利子負債

■ リース債務含む ■ リース債務除く ■ DELレシオ

(単位:億円)  
有利子負債額

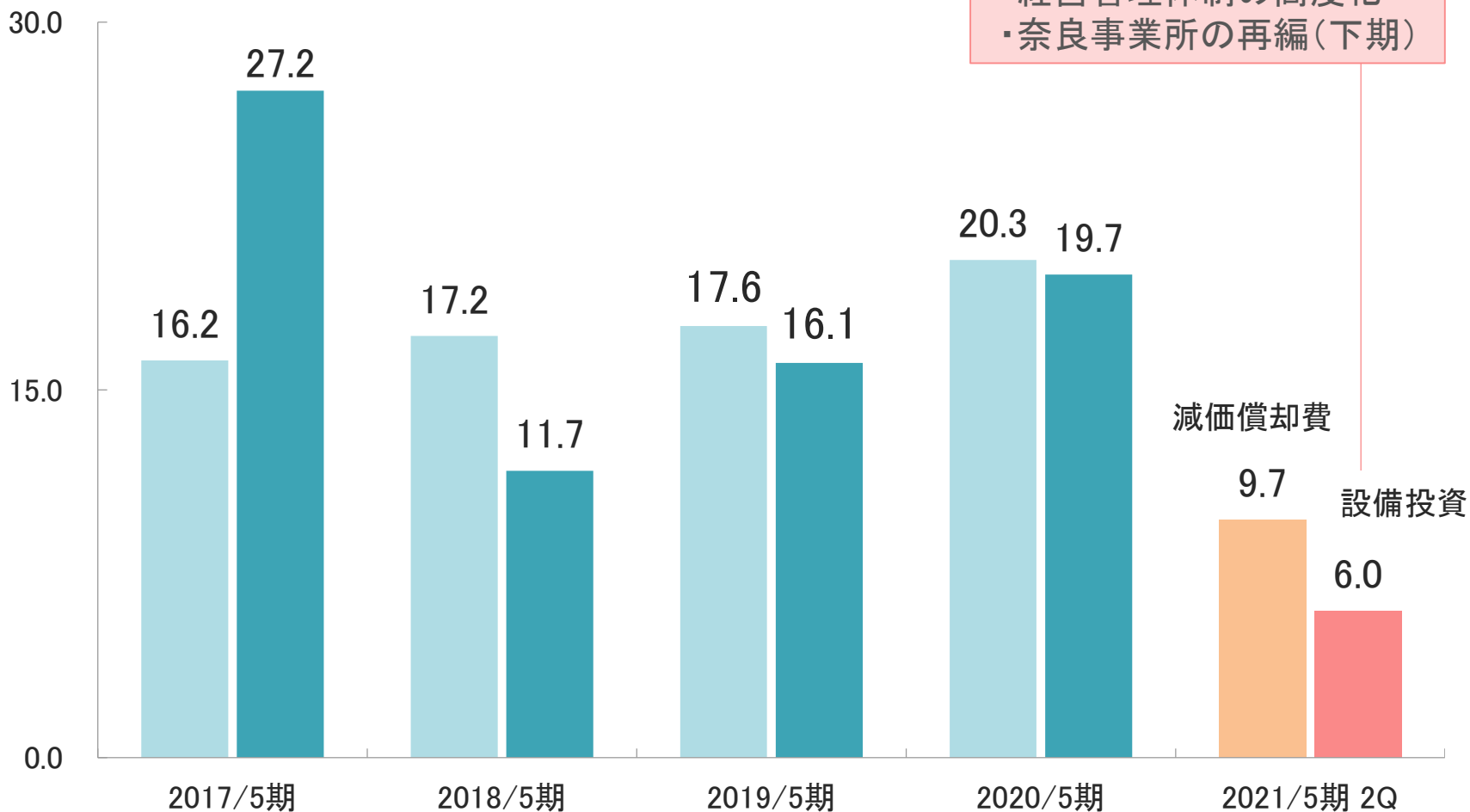


※DELレシオ...  $\frac{\text{有利子負債(リース債務除く)}}{\text{純資産(非支配株主持分除く)}}$

# 設備投資・減価償却費

(単位:億円)

■ 減価償却費 ■ 設備投資



## 2021年5月期 連結見通し

売上高 **814**億円

(前期) 915億12百万円

営業利益 **8億68**百万円

(前期) 15億57百万円

経常利益 **8億60**百万円

(前期) 13億23百万円

親会社株主に帰属する

当期純利益 **85**百万円

(前期) 1億42百万円

- インテリア事業では、国内の新設住宅着工戸数の前年同月比減少が続き、非住宅分野でも着工面積が伸び悩む一方で、外出自粛によるオンライン販売は好調に推移。
- 自動車事業では、海外各国でのロックダウンに伴う工場稼働停止などで大きく減少していた日系自動車メーカーの生産台数が、地域ごとに差はあるものの一様に回復基調にあり、特に中国では順調に回復。

日本国内では、2020年4～5月の緊急事態宣言の影響を受けて生産台数が大きく減少したが、9月には前年同月並みまで回復。

2021年1月より発出された緊急事態宣言の影響など、今後の事業環境には依然として不透明な部分がありますが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき、連結業績予想を公表いたします。



# 2021年5月期 事業セグメント別見通し

(単位:百万円)

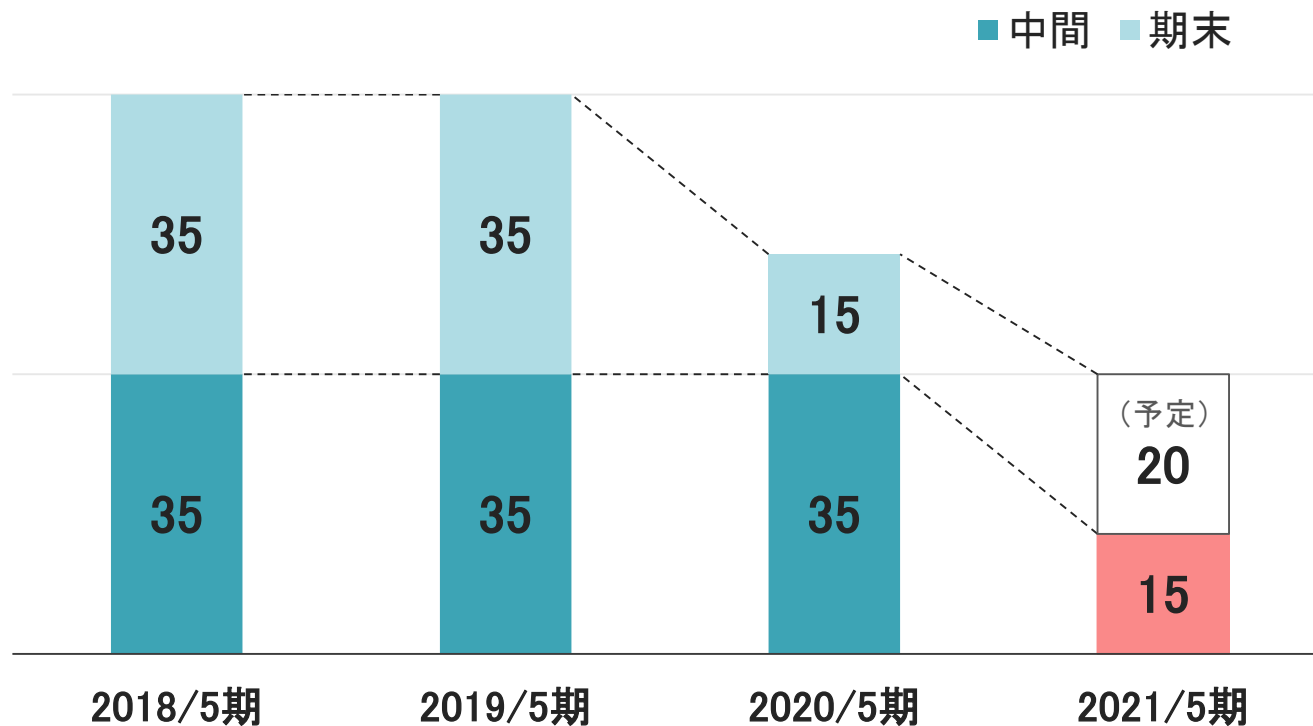
売上高		2021年5月期	2020年5月期	前期比増減	
				(率)	(額)
	インテリア	32,400	33,300	△2.7%	△900
	自動車・車両内装	45,400	54,075	△16.0%	△8,675
	機能資材	3,200	3,928	△18.5%	△728
	その他	400	207	+93.2%	+193
	合計	81,400	91,512	△11.0%	△10,112

営業利益		2021年5月期	2020年5月期	前期比増減	
				(率)	(額)
	インテリア	510	472	+8.1%	+38
	自動車・車両内装	2,180	2,652	△17.8%	△472
	機能資材	△170	79	-	△249
	その他	80	43	+86.0%	+37
	調整額	△1,732	△1,689	-	△43
	合計	868	1,557	△44.3%	△689

# 株主還元について

## ■ 配当金について

当期の配当金は、新型コロナウイルス感染拡大が事業へ大きく影響したため、中間は1株あたり15円とさせていただきます。期末配当金は20円、年間で35円とさせていただきます予定です。



## ■ 当資料の将来見通しに関するリスク情報

当資料における当社の今後の計画、戦略等の将来見通しに関する記述は、現時点で予測可能な合理的判断に基づいて作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因で異なる場合がございます。